

あいかわ 森のようちえん 報告書

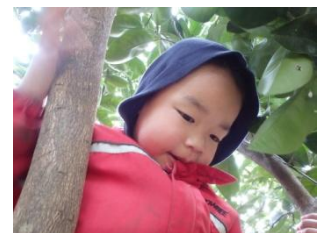


3月18日(土) 1日目

外での活動が楽しくなるような暖かい陽気の中、主催事業『あいかわ森のようちえん』を開催し、16家族51名の方にご参加いただきました。はじまりのつどいの前から外で遊ぶ子がいました。はじまりのつどいではアウトドアクッキングの班ごとに自己紹介をします。お母さんに好きな食べ物を言ってごらんと言われた子は「ん、分かんない。」とまだ少し緊張している様子でした。



昼食は暖かい陽気に誘われて外でシートを敷いて食べる人もいました。昼食後はみんなで春を探しに『たんけん』にでかけます。「いい匂いのする草だよ！」子どもの1人がスタッフに見せてくれます。それを聞いた子が嗅いでみると「臭いよ。」と表情をしかめました。人それぞれ感じ方のちがいが分かるワンシーンでした。他にも落ち葉のプールに埋もれてみたりと自然を使って遊びます。



たんけんの途中からは大人と子どもに分かれて活動します。大人は職員の自然ガイドを受けながらのんびりとロッジに戻りカフェタイム、子どもたちは山にたんけんへ行きます。子どもたちにとっては木のうろ(空洞)や急な坂でさえ遊び道具。両手をつかなくては登れない急な坂を登り「見て見て、こんな急な坂も登れるよ!」と得意気にのぼりおりを繰り返していました。



ロッジに帰ってきた子どもたちは「大きな葉っぱ見つけたよ!」「みんなで石の階段作ったよ!」など、何をしたのかを楽しそうに話します。お父さんお母さんは自然と笑みがこぼれていました。



夕食後は、日中と夜との違いを探しに『夜のたんけん』へ出かけます。暗いため視覚や聴覚、嗅覚、足の感覚が研ぎ澄まされ、地面の柔らかさの違いに気付いた参加者もいました。

子どもが寝静まると大人タイム。昼間のたんけんの様子をスライドショーで楽しみます。「山に大きな葉っぱがあったのか。」「ここでお尻がどろんこになったのね。」と、たんけんの様子を知って笑顔が生まれていました。

3月19日(日) 2日目

「おはよう!」と大人も子どもも元気にあいさつをします。お父さんお母さんとスタッフを含めて、シートたたみからはじまる朝。働くとお腹がすきます。朝食を食べて、みんなで力を合わせてロッジの掃除をしました。



クッキング開始!まずはみんなでパンの生地作り。班の中で交代しながら生地をこね、ぐにゃぐにゃした感触に子どもたちは大喜びで「生地が手についてとれないよ。」と言いつつも楽しそうです。生地を発酵させている間、2つの係に分かれます。お母さん野菜を切って平らな面を作り、子どもたちでもお手伝いができるサポートをします。火おこし係のお父さんからは、「うちの子、初めてマッチで火が起こせたんです!」と嬉しそうに我が子を見守っていました。発酵が終った生地は、ガス抜き・成形をしてダッチオーブンに並べて火にかけます。



フタをあけると、「わー、おいしそう!」「いいにおい!」とスープもパンもいい香りで一気に食欲をそそられます。スープをとりわける大人と食器を運ぶ子どもで食事の準備を進めます。準備が出来た班から「いただきます!」。焼きたてのパンはよほど美味しかったのでしょうか。お代り用に作ったパンも全てなくなりました。

食べ終わったらみんなでお片付け。子どもたちは協力して食器を洗い、洗った食器はお父さんお母さんのもとで、仕上げ洗いしてもらいます。片づけが終わると、最後のたんけんへ。



子どもたちは芝生に寝そべり芝生の柔らかさを感じます。草の匂いをかいだり、赤い実をみて摘んだり自然の中には子どもたちにとって興味の対象でいっぱいです。他にも風の音や鳥の声を聞いたり、自分たちで作ったパンを味わうなど五感をたくさん使って楽しみました。是非これからも親子そろって公園などへでかけて自然を沢山感じて遊んでみてはいかがでしょうか。文責: 石川